



大分の青少年



大分県青少年健全育成大会



第40回少年の主張大分県大会



第39回大分県少年の船運航事業



中学生・高校生地域リーダー育成研修

INDEX

- ② 大分県青少年健全育成大会／青少年育成県民会議会長表彰（団体と個人）
- ③ 第40回「少年の主張大分県大会」
- ④ 第39回「大分県少年の船」運航事業／中学生・高校生地域リーダー育成研修
- ⑤ 県民会議加盟団体の活動
 - ・大分県社会福祉協議会
 - ・大分県青少年団体連絡協議会
 - ・大分県公民館連合会
- ⑥ 市町村民会議の取り組み（中津市、別府市、臼杵市）
- ⑦ 市町村民会議の取り組み（佐伯市、竹田市、玖珠町）
- ⑧ 高校生ICTカンファレンス／インターネット出前講座
- ⑨ 青少年のネット利用実態調査
- ⑩ 「大人が変われば子どもも変わる」県民運動／青少年の健全な育成に関する条例の一部改正
- ⑪ 「大分県青少年育成県民会議」への加入のお願い／自死遺児救済援護事業のお知らせ
- ⑫ 大分県からのお知らせ 大分県子ども・若者支援地域協議会／青少年自立支援センター

平成30年度 大分県青少年健全育成大会

子ども・若者育成支援強調月間の11月16日（金）、大分県青少年育成県民会議の会員団体、青少年育成支援団体など青少年の健全育成に関わる関係者約140人の参加の下、大分県青少年健全育成大会をトキハ会館ローズの間にて盛大に開催しました。

式典では、広瀬 勝貞大分県知事による挨拶の後、大分県青少年育成県民会議会長表彰として5名4団体に表彰状を授与しました。また、受賞者を代表して庄内子供神楽愛好会 会長 長尾 郁さんが感謝の言葉を述べられました。

次に、今年度の少年の主張大分県大会で最優秀賞を受賞した佐藤吟次さん(佐伯市立蒲江翔南中学校3年生)が、受賞作である「僕を変えたきっかけ～福岡から蒲江へ」を発表し、大分市立明野中学校生徒会は「あけのSNS三原則の取り組みについて」の演題で、生徒達による自主的なスマホ等のSNS利用のルールづくりについての活動報告を行いました。

休憩を挟んで、ファミリーホームももたろう 所長 松田絵美氏による「“転機”問題行動は招待状」の講演がありました。

講師は、ファミリーホームの母親として障がいを持つ子どもも含めて現在5人を養育しており、平成16年から里親を始めて以来の子ども達との出会いや出来事を豊富な事例を交えて講演をしていただきました。生みの親から放置、又は虐待を受けた子ども達が、普通の感情を持つようになるのがいかに難しいか、また、子どもが育つ過程で普通受ける愛情や教育を受けられなかったり、十分与えられていないため、どこかでつまずくことがあり、そこまで戻って育てることが必要であることが語られました。

明野中学校生徒会の皆様の若者らしいすがすがしく、難題に挑戦していく姿勢や、里親としての松田所長の温かい心配りで子ども達が成長していく姿は感動的であり、参加者からとても有意義だったと意見が寄せられました。



広瀬知事の挨拶



受賞者の皆さん



佐藤吟次さんの発表



大分市立明野中学校生徒会からの活動報告



ファミリーホームももたろう
所長 松田絵美氏の講演

青少年育成県民会議会長表彰（団体と個人）

■青少年団体の部■

- 庄内子供神楽愛好会（由布市）
- 玖珠少年少女合唱団（玖珠町）
- 玉来子ども神楽愛護少年団（竹田市）

■保護育成者の部■

- 工藤 典子（大分市）
- 倉原 浩子（大分市）
- 芝野 聖美（由布市）
- 田中 基義（由布市）
- 荒金 淳（日出町）

■保護育成団体の部■

- 下ノ江ふれあい子ども広場
（臼杵市）
- （敬称略）

第40回

—今、中学生が訴えたいこと—

少年の主張

大分県大会



第40回の節目となった今年の大会には、県内25校から1304作品の応募がありました。平成30年8月22日、佐伯市弥生文化会館で開催された大分県大会では、第一次・第二次審査を経て選ばれた10人の中学生がそれぞれ日常や学校生活の中で体験したことや感じたことなど、さまざまなテーマで発表しました。

大会発表者作品

*学年は大会当時

- **最優秀賞**
 - 「僕を変えたきっかけ ～福岡から蒲江へ」
佐藤 吟次 (佐伯市立蒲江翔南中学校 3年)
- **優秀賞・共感賞**
 - 「ピアノが教えてくれたもの」
菅 祐斗 (竹田市立竹田南部中学校 3年)
- **優秀賞**
 - 「水俣での出会いから」
梶原 紗世 (玖珠町立森中学校 3年)
- **優良賞・大分県教育長賞**
 - 「誰かの好きがみんなの大好き」
川野 詩織 (佐伯市立鶴谷中学校 3年)
- **優良賞**
 - 「ルールは誰の為に」
高志明日香 (佐伯市立佐伯南中学校 3年)
 - 「ふるさとと共に生きる」
佐藤 緋南 (竹田市立久住中学校 2年)
 - 「「いま」を生きる者として」
田邊 希 (竹田市立直入中学校 3年)
 - 「私のコミュニケーション」
梶原 美優 (宇佐市立北部中学校 3年)
 - 「魔法の言葉」
佐藤 千紘 (佐伯市立昭和中学校 3年)
 - 「明るい社会に向かって」
阿部かなみ (宇佐市立釈川中学校 2年)

作品介绍 第40回「少年の主張大分県大会」最優秀賞

「僕を変えたきっかけ ～福岡から蒲江へ」

佐伯市立蒲江翔南中学校 3年
佐藤 吟次



「来年引越すぞ。」

二年前の大晦日、父のこの言葉が全ての始まりでした。福岡県に生まれ育ち、地元の中学校に通っていた僕は、このまま福岡で暮らしていくことに何の疑いもなかったの、しばらく父の言葉が信じられませんでした。

引越す理由は「海が近いところに住みたい。田舎に住みたい。」という両親の強い願いからでした。

僕はそのころ福岡の中学校で悪さばかりしていました。自分でも悪いとは思っていたけれど友達に流されてしまい、ついやってしまうということを繰り返していたのです。そんな自分が本当に嫌でした。だから、引越すは、自分が変われるチャンスかもしれないと感じていました。

そして昨年、福岡から大分県の佐伯市に移り住むことになりました。引越先は蒲江の畑野浦という地区です。畑野浦は佐伯市街から少し離れた海辺の小さな集落です。屏風のように連なる高い山を越えると峠道から眼下に青い海が広がります。福岡では見たことのないような雄大な風景に、僕は心が洗われるような気がしました。また、これから始まる新しい生活を思い、心がワクワクしたことを覚えています。

新学期が始まり、僕は佐伯市立蒲江翔南中学校に通うことになりました。

転校をきっかけに自分を変えようと考えていた僕ですが、二三日もたつと、もとの悪い癖が始めました。自分のしなければならないことをさぼる癖です。福岡にいた時は自分と似た友達が多かったのですが、蒲江翔南中学校の間は学校生活に対してすごく真面目で、やる気がありました。

仲間を通じて自分を見つめ直すことができ、やはり自分の悪い点は絶対に直さなくてはならないと感じました。

部活動は前の学校でも所属していた野球部に入りました。僕は中学校から野球を始めたので、なかなか上手くプレーできません。また、運動が苦手なところもありました。それでも僕が野球部に入ったのは、人を支えることができる人間になりたいからです。だから、試合に出ることが出来なくてもスコアブックを書くなどして、試合の補助を頑張りました。

最上級生になり、試合にも度々出場できるようになった僕は、最後の大会に

レギュラーで出たいと思いました。それを父に話すと「そりゃあ野球部なんやけん一試合だけでも出てほしいと思う。」と言われました。

かつて野球部だった父に自分の活躍の姿を見せたいと思い、僕はレギュラーを目指しました。しかし、最後の大会はベンチでした。悔しい気持ちで一杯でしたが、ランナーコーチなどをしながら最後まで皆で戦いました。二対一というわずかな差で敗れた試合のあと、僕は福岡にいた頃の自分と今の自分について考えていました。すると自分がいくつかの点で変わっていることに気づきました。

その変化の一つが宿題をちゃんとするようになっていたことです。宿題をしなければ放課後に居残りになり、部活に参加できません。練習に遅れたくないという思いで、僕は宿題を毎日するようになっていました。

さらに家庭学習がついたことで、授業に集中できるようになり、テストでも問題を解けるようになりました。それにつれて学習成績も見違えるように良くなりました。以前は両親に見せるのが怖かった成績表も、今では堂々と見せることが出来ます。

でも自分の中で一番変わったのは心だと思えます。楽な方に流されて自分を見失いがちだったあのときの僕はもういません。

今、僕はクラスの学級委員長をしています。信頼されるリーダーにはほど遠いと思いますが、気のいい蒲江の仲間達と毎日笑い声の絶えない楽しい中学校生活を送っています。僕たちの目標は「全員の夢の実現」です。僕は高校に進学し、大学も目指しています。同じような夢を持った仲間と休みの日も声をかけ合い、集まって勉強をすることもあります。福岡で遊び回っていた頃とは全く違う充実が僕の心を包んでいます。

「何が僕を変えたのか。」そのきっかけを考えたとき、蒲江の豊かな自然と気のいい仲間達が、僕を自分自身と向き合わせてくれたことに気づかされます。

福岡から佐伯市に引越すことで、人は何かをきっかけに変われるということ僕は学びました。また、この引越すことによって僕の人生が変わったといっても過言ではありません。それほど大きな変化だったのです。

以前の僕のように、自分を変えたくても変えられず、悩んでいる人は多いと思います。そういう人たちに、目指す自分を見失わないこと。けしてあきらめないこと。時折立ち止って自分を振り返ってみること。それが自分を良い方向に変える方法だということを伝えたいです。

僕は佐伯市に引越したことで、ここまで変わることができました。これからもどんどん良い方向に変わっていきたくです。そして僕が変わる最高の環境になった蒲江の人と町に心から感謝したいと思います。

蒲江は僕の、もう一つのふるさとです。

第39回「大分県少年の船」運航事業

大分県の明日を担う青少年の健全な育成を図るため少年の船を運航し、学校や家庭では体験できない船内外での研修及び集団生活を通じて、青少年の社会性を養いながら、生きる力を育むことを目的に、昭和55年から運航しており、今回で39回目の運航となりました。

今年の災害級の猛暑の影響で、結団式を船内で行うことになりましたが、運航期間中は天候にも恵まれ、船内活動をはじめ、沖縄での海水浴や平和学習など現地研修を予定どおり実施することができ、無事4泊5日の航海を終えることができました。また、今年から出航の港が大在公共埠頭から別府国際観光港へ変更になりました。

日程
 事前研修 7月1日(日) 大分銀行ドーム
 本研修 7月27日(金)～31日(火) 沖縄県
 事後研修 10月8日(月) 大分銀行ドーム

参加者
 小学生(団員) 458名
 中学生(副班長) 40名
 高校生(班長) 40名
 成人(スタッフ) 62名 計600名



平和学習

活動内容

船内では、「少船わくわく広場」や「びいなすカップが2018」などを通して、県内各地から集まった仲間との友情や絆を深めることができました。また、沖縄の現地学習では「大分の塔」での慰霊祭やひめゆり平和祈念資料館見学などを行い、平和の大切さを学びました。今年度は、海上での「星空見学」や沖縄の文化や伝統を学ぶ「おきなわタイム」など、新たな活動も取り入れ、非常に大きな感動体験が生まれました。



おきなわタイム

中学生・高校生地域リーダー育成研修

平成30年12月16日(日)、平成31年1月27日(日)の2日間「中学生・高校生地域リーダー育成研修」を開催しました。本研修は、中学生・高校生の社会参画を促進するため、コミュニケーション力、企画力、協働力等地域で活動するための考え方やスキルを身につけることを目的として、大分県青少年育成県民会議が主催して実施したものです。

第1回の研修には県内の中学校13校、高等学校9校から29名が参加し、地域における中学生・高校生の役割を学んだり、フィールドワークの事前学習等を行いました。第2回の研修では、昨年度の台風18号で被害を受けた津久見市を実際に訪れ、4班に別れて市内各地の住民や商店主、農家などから被害の状況や教訓、復興の様子を聞き取りました。その後、津久見市の魅力や課題、解決策について話し合いました。今回の研修成果を参加者自らが暮らすまちへフィードバックし、各地域を担う人材へと成長してくれることを期待しています。



日本文理大学・高見先生の講義



フィールドワーク



グループ別発表会

参加者の感想

- 自分が思っていた以上に、自分たちの世代がもつ力が大きいことを実感しました。今しか使えないこの力を最大限生かせるようにしっかりと学びたいと思います。
- 自分たちがこれから未来のための原動力となるためにがんばらないといけないと思いました。地域のことを常に考え、自分のためではなく、地域、世界のために自ら動いていきたいと思いました。
- 災害があっても津久見の人たちがとても元気で前向きな所がとてもいいと思いました。みんなで協力する地域づくりの空気感(雰囲気)が津久見の人たちの生きる活力となっているのだろうと思いました。今回の研修で学んだことを心のコップにしまっておいて、いつでも気づかひや行動ができるようにしたいです。昼食で食べた郷土料理のひゅうが丼もおいしかったです。
- 災害があっても、心が折れても全くおかしくない状況だったのに、周りの人々と協力し、心が折れることもなく、復興に努めたことを尊敬します。最後に講師の方が言っていた、風の人と土の人で力を合わせ風土をつくっていくということをずっと心にとどめておきたいと思います。

県民会議加盟団体の活動

社会福祉法人 大分県社会福祉協議会

問い合わせ先 097-558-0300 月～金 8:30～17:15

社会福祉法人大分県社会福祉協議会は「強い絆で結ばれた地域社会の構築」を基本理念として、社会福祉関係機関・団体等と連携し、福祉のまちづくりや生活支援、福祉人材の育成を使命として、様々な諸活動に取り組んでいます。

指定管理施設として運営する「社会福祉介護研修センター」では、福祉従事職員研修のほか、一般県民向けの介護教室等を開催しています。同じく指定管理施設として運営する「身体障害者福祉センター」では、温水プールや体育館を完備して、障がいを持つ方達への文化教室やスポーツ支援などを行っています。

また、本会では「地域福祉振興基金」を活用し、県内の企業や団体の社会貢献活動等の取り組みに寄り添い、応援しており、その活動の一つとして「フードバンクおおいた」を設立し、こども食堂等への食料支援を行っています。皆様からの善意を広く地域で活かす活動を今後も積極的に行ってまいります。



社会福祉介護研修センターの介護教室



フードバンクおおいた

大分県青少年団体連絡協議会

問い合わせ先 0977-66-9206 月～金 9:00～17:00

大分県青少年団体連絡協議会は、1973年に、県内の青少年団体が相互に連携を深め、協力して青少年活動の発展を図り、郷土の明日を担う健全な青少年を育成することを目的に結成されました。

それぞれの団体の特徴を尊重しながら、研究会やボランティア活動などを行っており、主な活動として、「大分県少年の船」のリーダー・班長・副班長・団員の推薦や、少年の船に係る事前・事後研修のスタッフサポートなどを行っています。

学校の枠を超えた皆さんの友達を作りたい方や、ボランティア活動に興味がある団体の加入をお待ちしています。



大分県少年の船

青少年団体	大分県子ども会育成会連絡協議会…0977-66-9206
	公益社団法人 日本ボーイスカウト大分県連盟…097-529-7175
	公益社団法人 ガールスカウト大分県連盟…097-556-6808
	日本海洋少年団大分県連盟…097-521-6113
	大分県スポーツ少年団本部…097-504-0888
	大分県みどりの少年団育成連絡協議会…097-546-3009
青年団体	大分県文化財愛護少年団連絡協議会…097-536-1111 (内線5496)
	「小さな親切」運動大分県本部…097-536-3600
	大分県連合青年団…090-2393-7401
	大分県BBS連盟…0973-22-6311
	大分県農協青年連絡協議会…097-506-3586
大分県青年国際交流機構…097-546-3400	
大分県少年の船の会…090-9657-3943	

加盟団体の連絡先

大分県公民館連合会

問い合わせ先 097-506-5561 月～金 9:00～17:00

大分県公民館連合会は、大分県内における公民館相互の連携を図ることにより、公民館活動の振興発展に寄与することを目的として設立された団体です。

主な事業は、公民館関係職員等を対象とした研究大会や各種研修会の開催、広報紙やHPによる情報提供です。事業を通して、当面する諸課題の解決や公民館活動の一層の充実・発展を図っています。

公民館は、地域の様々な課題等に対応できる人材の育成を目指す地域の学習拠点として中心的な役割を果たしています。日常気軽に人々が集うことができ、自らの興味関心や社会の要請にこたえるための知識や技術を学ぶことができます。また、地域の様々な機関や団体のネットワーク形成の要となっています。公民館は、住民同士が「つどい」「まなぶ」「むすぶ」場づくりをすることで、青少年の健全育成を図るとともに、人づくり・地域づくりに貢献しています。



研究大会



各種研修会

市町村民会議の取り組み

1 中津市 (中津市青少年健全育成市民会議)

中津市青少年健全育成市民会議は中津支部、三光支部、本耶馬溪支部、耶馬溪支部、山国支部の5つの支部で構成し、各校区の青少年の健全育成を図っています。市民会議全体の取り組みとして、全21小学校で就学時健康診断及び入学説明会時に新入生の全ての保護者を対象に「校区子育て講座」を開催しています。「子育て、自分(親)育て」をテーマに、元教職員や子どもの健全育成に経験豊富な方々が講師となって、就学前の子育てや家庭教育のあり方、子どもにとって安全安心な校区づくりの重要性を伝える場にはしています。保護者からは「学校の役割、家庭での親のあり方など、大変わかりやすく心に響きました。」「親も子どもと一緒に成長していこうと思いました。」などの感想が出されるなど、大変有意義な講座になっています。



小楠校区子育て講座



大幡校区子育て講座

2 別府市 (別府市青少年育成市民会議)

別府市青少年育成市民会議は、市内17の旧小学校区ごとに組織された校(地)区青少年育成協議会によって構成され、全ての青少年が安全で安心な環境の中で心豊かにたくましく成長し、活力あるまちづくりの担い手になることを目指し、校(地)区間の情報交換・交流や全市的な啓発活動等に取り組んでいます。

今年度は、各校(地)区育成協議会の事業数の増加と活動の質の向上を目的に、長崎県諫早市こどもの城館長を招き、子どもたちが生きる力を培う体験活動の在り方について小中学校教員らと共に学びました。

今後も、「地域の子どもは地域みんなで育てる」機運を高め、各校(地)区青少年育成協議会の連携と活動促進に取り組んでまいります。



研修会の様子



朝日校区青少年育成協議会主催事業の様子

3 臼杵市 (臼杵市青少年健全育成会連絡協議会)

臼杵市では小学校13校区ごとに地区健全育成会を組織し、自治会・民生委員・地区住民等の協力のもと、地域の特性を活かした特色ある活動を行っています。

また13校区の健全育成会を包括する「臼杵市青少年健全育成会連絡協議会」では、校区ごとに主な取組・問題点を発表し合うことで、情報の共有化を図っています。昨年度は地区健全育成会における子どもの見守り活動に重点を置いた会議を行いました。講師として臼杵津久見警察署の生活安全課長を招き、子どもの被害防止と、学校・地域・家庭でできる取り組みについて、貴重なお話しとアドバイスをいただきました。

今後も、子どもたちを地域の宝として育てていくために、各地区健全育成会の活性化を図りたいと考えています。



防災キャンプ



農業体験



4 佐伯市 (佐伯市青少年育成市民会議)

佐伯市では、20地区の育成協議会が活動しています。子どもの日やクリスマス会などの子ども会の行事をはじめ、消防や清掃等の奉仕活動、カヌー、スケート、ミニバレーなどのスポーツ活動、田植え、もちつき、そば打ち、生け花、鮎のちよんがけといった各種体験活動など、地域の人たちが中心となり、学校や公民館と連携して、工夫しながら、様々な活動に取り組んでいます。そのほか、ユニークな活動として、みかんの摘果と収穫を行う「みかん学習」や魚の干物工場を見学して作業を手伝い、干物を焼いて食べる「つくる漁業体験」、小学校3年生の学習支援を行う「ホタッピー教室」など、バラエティに富んでいます。



みかん学習



つくる漁業体験

5 竹田市 (竹田市青少年育成市民会議)

竹田市青少年育成市民会議では、健全な青少年の育成をめざし、各地域の5協議会を中心に民間団体や関係機関の連携により組織し、近年の社会情勢を踏まえ、活動の充実を図っています。

1. 家庭の教育力の再生を支援する
2. 青少年健全育成のため非行や問題行動未然防止に取り組む
3. 地域の青少年育成協議会等の連携と充実を図る

の3つ柱を基本に5協議会が各中学校区のニーズにそってそれぞれ特色ある活動として、「地域あげてのあいさつ運動」「校区内防犯等パトロール」「植栽作業」「PTA合同講演会」など小・中学校を核として地域総ぐるみの活動を展開しています。



地域あげてのあいさつ運動



植栽作業

6 玖珠町 (玖珠町青少年健全育成協議会)

玖珠町青少年健全育成協議会は町内7中学校区に地区協議会を組織し、それぞれの地区があいさつ運動、清掃活動、レクリエーション活動など独自の取り組みを行っています。

7月に開催を予定していた町青少年健全育成推進大会は残念ながら悪天候により中止となりましたが、12月には県教育委員会と町教育委員会が主催の「家庭教育推進キャラバンin玖珠 親子わくわくフェスタ」の取り組みに参加しました。

参加者からは「普段聞けないことが聞いて良かった。」「子どもの接し方を考えるいいきっかけになった。」などといった感想が寄せられ、家庭教育に関する事業の重要性を再認識することとなったので、今後も取り組んでいきたいと考えています。



あいさつ運動



親子わくわくフェスタ

高校生ICTカンファレンス

高校生がネット、スマホやICTの安心・安全な利活用について自ら考え議論する「高校生ICTカンファレンス2018in大分」が、平成30年8月26日(日)に九州電力(株)大分支社で開催されました。

県内19校71名(過去最高)の高校生が参加し、「社会で活躍するためのICT活用法～18才成人化を控えて～」をテーマに、学校の垣根を越えてグループ討議・発表を行いました。

審査の結果、東九州龍谷高等学校2年の東陽晃龍さんが県代表生徒に選ばれました。

東陽さんは、11月3日に東京で開催されたサミットに出場し、そこでも全国の代表生徒に選ばれ、関係省庁への提言も行いました。

※当日の動画配信

大分県教育庁チャンネル 高校生ICTカンファレンス

検索



【募集ポスター】



【参加した高校生等】



【県生活環境部長に全国サミット出場結果を報告する東九州龍谷高等学校の東陽晃龍さん】

携帯・ネット利用に関する保護者向け啓発講座 (インターネット出前講座)

大分県青少年育成県民会議では、ネット利用によるトラブルから青少年を守るため、LINE株式会社、株式会社ドコモCS九州、KDDI株式会社九州総支社、ソフトバンク株式会社の協力により「携帯・ネット利用に関する保護者向け啓発講座(インターネット出前講座)」を実施しています。PTA や公民館等の研修でぜひご活用ください。

30年度は11講座で約550人が受講(31年2月末現在)しています。

内容

携帯電話(スマートフォン)・ネット利用に係るトラブル事例とその解決方法等について、学校やPTAが行う保護者向け研修や市町村PTA連合会、青少年育成関係者等が対象の研修に講師(携帯電話事業者)を派遣します。

主なトラブル事例

- ・ ネットいじめ
- ・ 個人情報やプライベートな画像の流出
- ・ 長時間利用 (ネット依存)
- ・ 高額請求 (ワンクリック詐欺)

問い合わせ・申し込み先

詳しくは大分県青少年育成県民会議事務局 **TEL.097-506-3080 FAX.097-506-1745** にお問い合わせください。

申込書は「大分県青少年育成県民会議」のホームページからダウンロード可能です。

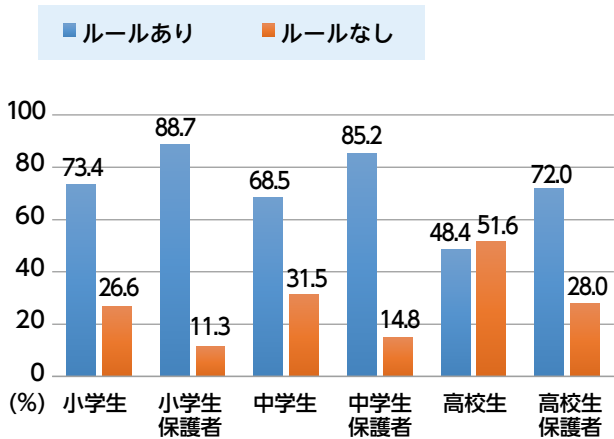
青少年のネット利用実態調査

平成30年7～8月、大分県では県内の小学生（小2、小5）、中学生（中2）、高校生（高1）の児童生徒及びその保護者の約1万人を対象にインターネット利用について調査しました。下記の調査結果はごく一部を掲載しています。子ども達がネットトラブルや被害に遭わないように、保護者は、「家庭でのルールづくり」や「フィルタリングの利用」についてしっかりと考えましょう。

また、最近では「自撮り被害」も発生しています。子ども達を取り巻くインターネット環境についての知識を身につけて、子ども達を被害から守りましょう。

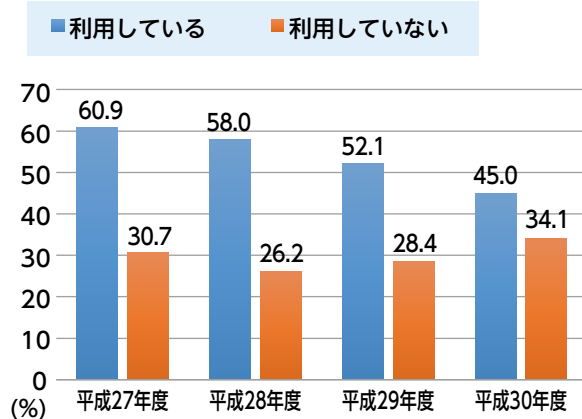
家庭でのルール

全ての校種において、「家庭に使用上のルールがありますか」との問いに対し、保護者回答よりも児童生徒回答の方が下回っています。



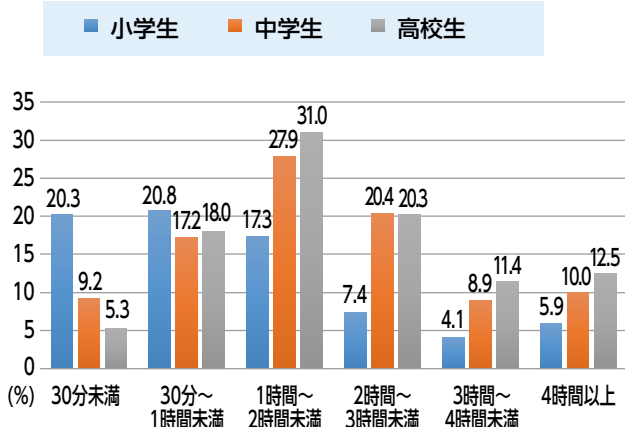
フィルタリング利用率

フィルタリング利用率は、年々減少しています。子ども達を有害情報から守る大切なものですので、子ども達が利用するスマートフォン等には必ず設定しましょう。



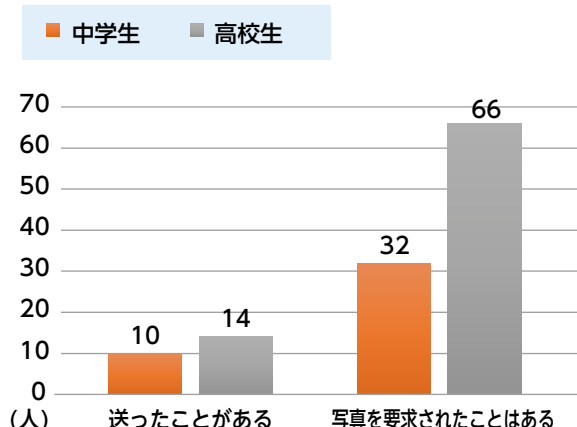
インターネット利用時間(平日)

インターネット利用時間は校種が上がるにつれて増える傾向です。平日にもかかわらず、中学生・高校生の1割強が4時間以上利用しています。



裸や下着姿の写真のやりとり

SNS等で知り合い会ったこともない相手に自分の裸の写真等を送ったことのある子ども達があります。この数を見て、衝撃を受けませんか。





「大人が変われば子どもも変わる」県民運動

～子どもは社会（大人）を映す鏡です～

大分県青少年育成県民会議と県では、大人がお手本を示す「大人が変われば子どもも変わる県民運動」に取り組んでいます。特に、「県民総ぐるみあいさつ運動」に力を入れています。

あいさつは人と人をつなげる大事な出会いの言葉です。あいさつ運動を通して子ども達の社会性を育むとともに、子ども達は地域で守り育てるという意識の高揚を図るため、毎月第3金曜日の「青少年の日」を中心に県下であいさつ運動を行っています。



【JR大分駅(7月)】



【ガレリア竹町(11月)】

(主な活動実績)

- 青少年の非行・被害防止強調月間
7月20日(金) 8:00～8:30 JR大分駅前広報啓発空間
15団体50名参加
- おおいた教育の日
11月1日(木) 11:50～12:20 竹田市総合文化ホール(グランツたけた)
16団体32名参加
- 子供・若者育成支援強調月間
11月9日(金) 16:30～17:30 ガレリア竹町ドーム広場ほか
29団体101名参加

青少年の健全な育成に関する条例の一部改正

防ごう！ 青少年の自画撮り被害！！

※「自画撮り被害」とは、だまされたり、脅されたりして自分の裸などの画像を撮影させられた上、メールなどで送られる被害のことです。

●現状

県の調べでは、青少年の約9割がインターネットを利用し、そのうち中学生の6割強、高校生の9割強がSNSを利用しています。そのような中、自画撮り被害に遭ったり、誰にも相談できずに悩んでいる青少年がいます。

【自画撮り被害児童数(人)の推移】

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
全国	207	270	289	376	480	515
大分県	1	1	1	4	1	3

※警察庁・大分県警調べ

このため、下記のとおり青少年の健全な育成に関する条例の一部改正を行いました。

青少年の健全な育成に関する条例の一部改正(平成31年2月1日施行)

第37条の2(児童ポルノ等の提供を求める行為の禁止)

何人も、青少年に対し、次に掲げる行為を行ってはならない。

- 一 青少年に拒まれたにもかかわらず、当該青少年に係る児童ポルノ等の提供を行うように求めること。
- 二 青少年を威迫し、欺(あざむ)き、若しくは困惑させ、又は青少年に対し対償を供与し、若しくはその供与の約束をする方法により、当該青少年に児童ポルノ等の提供を行うように求めること。

△罰則30万円以下の罰金又は科料



【県作成の啓発ポスター】

「大分県青少年育成県民会議」への加入のお願い

大分県青少年育成県民会議とは

県内市町村民会議をはじめ企業、団体等の109団体で構成されています。
 県内の青少年が地域や社会の一員として主体的に未来を切り拓いていく資質を身につけ、自立を達成できるよう、「非行・被害防止と有害環境対策の推進」、「体験活動の推進」、「普及啓発と県民運動の推進」3つを重点目標に掲げ、家庭・地域・学校が一体となった青少年健全育成県民運動の一層の推進を図ることを目指しています。

加入のお願い

現在、社会の急速な変化の中で、青少年の非行や被害だけでなく、ニート、ひきこもり、インターネットによる有害情報の氾濫など、青少年をめぐる多くの問題が山積しています。
 このような状況を少しでも改善し、将来の大分県を担う青少年が健やかに成長していけるよう、県民総ぐるみで青少年の健全育成に取り組んでいかなければなりません。
 そこで、この活動の輪をさらに広げるために、一緒に活動に参加していただいたり、趣旨に賛同していただいたりする企業や団体の皆様のご加入をお願いいたします。

加入のしかた

大分県青少年育成県民会議事務局へご連絡いただいた後、「加入申込書」を送付いたしますので、ご記入のうえ提出をお願いいたします。詳しくは「大分県青少年育成県民会議」ホームページをご覧ください。

会費

正会員 年間3,000円 賛助会員 年間5,000円

事務局

大分県生活環境部私学振興・青少年課内
 TEL：097-506-3076 FAX：097-506-1745
 E-mail：oita.patrol@gmail.com

大分県青少年育成県民会議

検索



◆ 自死遺児救済援護事業のお知らせ ◆

大分県青少年育成県民会議では、自死遺児（自殺により親権者を失った児童生徒）を対象に入学・卒業祝い、修学旅行費補助等の援護活動を行っています。
 対象は県内に居住し、県内の小・中学校又は支援学校の小・中学部に在籍する自死遺児です。亡くなった親権者の性別等に関係なく、また、生計を担う者であったかどうかは問いません。ただし、親権者の再婚や養子縁組等により新たに両親を得た者は除きます。

【援護（支給）内容】

- 新規自死遺児激励品（対象：新規申請者）
- 入学・卒業祝い（対象：小学1年、小学6年、中学3年）
- 修学旅行助成金（対象：小学6年、中学2年）
- 家族ふれあい旅行費用助成（小学5年）
- 文化事業・スポーツ見学助成（全員）
- クリスマスプレゼント（全員）

新規申請などのお問合せは、下記までご連絡ください。

【問い合わせ先】大分県青少年育成県民会議事務局 TEL：097-506-3076

社会的自立に困難がある子ども・若者を支援します！

国は、「青少年が社会生活を円滑に営む上での困難がある子ども・若者を総合的に支援するため、地域の関係機関が連携して支援するためのネットワークづくり」を推進しています。

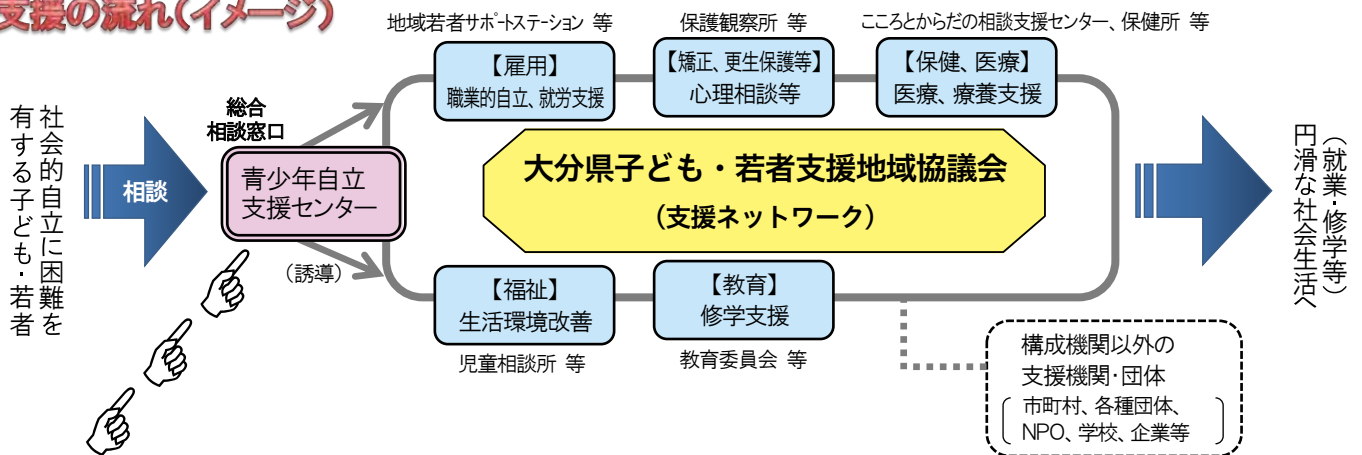
県では、平成25年3月、様々な分野における国や県、民間団体等の支援機関・団体で構成する「大分県子ども・若者支援地域協議会」を設置し、支援ネットワークの強化を進めています。

大分県子ども・若者支援地域協議会の構成機関・団体

(H31年3月現在)

国の機関	大分家庭裁判所／大分保護観察所／大分少年鑑別所／大分刑務所／中津少年学院／大分労働局／大分少年院
県の機関	私学振興・青少年課／障害福祉課／こども・家庭支援課／地域福祉推進室／雇用労働政策課 教育庁学校安全・安心支援課／警察本部少年課／保健所(6保健所)／こことからだの相談支援センター 中央児童相談所／中津児童相談所／教育センター／二豊学園／県立爽風館高等学校
公共相談機関	青少年自立支援センター／ジョブカフェおおいた／児童アフターケアセンターおおいた 大分県発達障がい者支援センター「イコール」／大分県地域生活定着支援センター おおいた地域若者サポートステーション
民間団体	子ども・若者とその家族を支援する団体(13団体) おおいたステップの会／NPO法人グッドイナフの会／NPO法人心の支援センター チャイルドラインおおいた／大分県保護司会連合会／ばすたの会(おおいた「非行」と向き合う親たちの会) 星の会(不登校を考える親の会)／NPO法人共に生きる／NPO法人パワーウェブ日出 (公社)大分県社会福祉士会／(一社)若葉会 ハートフルウェブ (一社)いのちと暮らしのつながり研究所 かたつむり学舎／社会福祉法人 清浄園

支援の流れ(イメージ)



青少年自立支援センター (おおいた ひきこもり地域支援センター)

悩み相談全般を受け付けます！
(ひきこもり相談については年齢不問)

大分県では、不登校やひきこもり、ニートなど社会的自立に悩みを抱える青少年及びその家族を支援するための総合相談窓口として「青少年自立支援センター」を開設しています。

本人や家族の支援ニーズ等に応じて適切な支援先につなぎます。

相談は **無料** です。悩みごとがあれば、お気軽にご相談ください。

まずは ☎ **097-534-4650** にお電話ください。

(通話料はかかりません)

相談内容 ▶ 不登校、ひきこもり、ニート等青少年の悩み相談全般

相談時間 ▶ 月曜日～土曜日 9:30～17:30

所在地 ▶ 大分市中央町1丁目2-3 KNTビル [★印の場所]

